

講義名	社会調査演習 【履修条件要確認】		
科目区分	特別研究		
担当教員	栗田 真樹		
開講期・曜日・時限	前期 水曜日 3時限		
	2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / 2017年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2017年度 経済学部 経済情報学科 / 2017年度 経済学部 経済学科 / 2017年度 商学部 マーケティング学科 / 2017年度 商学部 経営学科 / 2016年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2016年度 人間社会学部 観光学科 / 2016年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2016年度 経済学部 経済情報学科 / 2016年度 経済学部 経済学科 /		
履修開始年次	3年生	単位数	2
		講義コード	33050

主題と概要

社会調査法のうち 質問紙調査法 フィールドワーク 内容分析の方法を用いながら人々の生活に関する諸問題に関する調査演習を行なう。具体的な対象としては、人々の消費の場であり、生活空間でもある「フードマーケット」や「商店街」を取り上げる予定である。演習Iでは、フィールドワーク、内容分析を中心にして、問題の所在・設定からはじまり、仮説・モデルを構成し、ワーディング、調査票のデザイン、サンプリングまでの調査の手順・技法を、実践的に修得することを目的とする。

到達目標

・フィールドワーク、内容分析を中心にして、問題の所在・設定からはじまり、仮説・モデルを構成し、ワーディング、調査票のデザイン、サンプリングまでの調査の手順・技法を、実践的に修得する。
・調査票もしくはフィールドノーツを作成する。

提出課題

演習Iの終了時に 実査に用いる調査票あるいは フィールドノーツの提出を義務付ける。

評価の基準

出席・平常課題・グループへの参加状況等を総合して評価する。

履修にあたっての注意・助言他

社会調査士科目の必修科目であるので、社会調査士資格希望者はこの科目とともに、同年度開講の「社会調査演習II」も必ず受講すること。なお「社会調査演習I」を履修していなければ「社会調査演習II」は履修できない。
授業時間外に演習活動の時間を設定する可能性があるため、その点を踏まえて履修すること。
事前に社会調査士科目（A領域～F領域）を3科目以上単位修得しておくこと。
事前申込制とするので、資格取得希望者は上記の条件を満たしたうえで申し込み手続を行うこと。

教科書

・ 特には指定しない。・

プリント資料及び参考文献

随時配布、紹介する。

授業計画

- 1 はじめに 演習のイントロダクション
- 2 問題の所在、モデル、仮説
- 3 予備的フィールドワーク
- 4 自己の仮説、モデルの構築
- 5 各自の仮説と調査方法の選択
(質問紙調査、 フィールドワークのいずれかのコースを選択)
- 6 調査票の設計
インタビューの方法
- 7 サンプリング1
対象の確定と資料収集及び検討1
- 8 サンプリング2
対象の確定と資料収集及び検討2
- 9 調査票の作成1
フィールドワークの手順
- 10 調査票の作成2
実施のための交渉
- 11 調査票の作成3
フィールドワーク1
- 12 調査票の作成4
フィールドワーク2
- 13 調査票の作成5
フィールドワーク3
- 14 結果の検討と報告作成1
- 15 結果の検討と報告作成2

予習・復習

この授業科目は2単位ですが、2単位に必要な学修総時間は90時間と決められています。90時間の内訳は授業で30時間（2時間×15回）、予習・復習で60時間（4時間×15回）です。
予習・復習等、授業時間外で60時間の学修を達成できるように主体的・積極的に取り組んでください。

備考